入学前課題について

松山東雲短期大学保育科

合格おめでとうございます。

保育科では、みなさんが入学までの時間をより有意義に過ごし、保育についての学びを始められるよう、事前課題を用意しました。以下の「課題1～3」は、4月からみなさんが学ぶ内容のごく一部ですが、いずれも保育者を目指すうえで大切な「学びの土台」となるものです。ぜひ、主体的・積極的に取り組んでみてください。



【課題の内容】

課題1　みる　**「チャイルドウォッチング」**

1. 目的

保育を学ぶうえで最も大切なのは、「子どもをよくみて、考える力」です。

私たちは毎日、身近な人や出来事を何となく「みて」いますが、それだけでは子どもを理解したとは言えません。

この課題では、公共の場で子どもを観察し、ありのままを丁寧に記録し、そこから考える力を育てることを目的とします。

2. 観察の場所

以下のような **公共の場** で子どもを観察してください。

・公園（遊具のある広場など）　・電車・バスなどの公共交通機関　・レストランやフードコート

・商業施設（ショッピングモール、書店、子ども向けコーナーなど）

※ 親子・家族・子ども同士など、子どもの行動が自然に見られる場所を選んでください。

※ プライバシー保護のため、名前や撮影は絶対に行わないでください。

3. 観察対象

・年齢は問いません（乳児・幼児・小学生いずれでも可）

・特定の1人を追いかけて観察する必要はありません。

・気になった子どもがいれば、短時間の観察でも構いません。

4. 観察時のポイント（見る視点）

観察のときは、次の点を意識してみましょう。

・行動 … 何をしていたか（遊び方、移動の仕方、食事場面など）

・表情・しぐさ … 嬉しそう、困っている、考えているなど

・まわりの人との関わり … 家族との会話、友達との関わり、他の大人への反応

・環境との関係 … 遊具の使い方、店の中での動き、空間との関わり

・子どもの意図に見えること … なぜその行動をしたのか、どんな気持ちだったのか（推測）

5. 記録の仕方

観察内容は **できるだけ事実をそのまま** 記録してください。

・日時

・場所

・どんな場面だったか（状況の説明）

・観察した行動・様子（時系列で簡潔に）

・気づいたこと・疑問に思ったこと

・自分の考えや感想

6. 提出物

A4 用紙 1～2 枚にまとめて提出してください。

形式は問いませんが、以下の項目を必ず含めてください。

① 日時・場所

② 観察した子どもの様子（事実の記録）

③ 気づいたこと

④ 疑問・考察

⑤ 自分の感想（学んだこと）

※ 手書き・PC どちらでも可

※ 写真・イラスト・個人情報は記載しないこと

7. 注意事項

・個人が特定される情報（名前・服装の特徴など）は書かないこと

・撮影は絶対に行わない

・迷惑にならないよう、適切な距離から観察すること

・子どもに不安を与えない行動を心がける

・親御さんに声をかけたり、説明したりする必要はありません

課題2 きく **「A：自分の子ども時代について知る」・「B：先生にインタビュー」** ※A/B どちらかを選択してください。

「A：自分の子ども時代について知る」

1. 目的

保育者として子どもを理解するためには、まず **自分自身の子ども時代を振り返ること** が大切です。

自分がどのように育てられ、どんな遊びや経験を喜んでいたのかを知ることは、

「子どもの気持ちを想像する力」を育てる重要な手がかりになります。

2. 取り組み内容

家族（保護者・祖父母など）に、自分が幼児期にどんな子どもだったかを尋ねてみてください。

可能なら、母子手帳や写真アルバムがあれば参考になります。

3. 質問の例

以下の質問を参考にしながら、3つ以上質問してみましょう。

・小さいころ、どんな遊びが好きだった？　　・よくしていた遊びやロぐせは？

・幼稚園・保育園での様子で覚えていることは？　　・食べ物の好き嫌いはあった？

・どんな性格だったと言われていた？

・家族が「こんなところが可愛かった」「困った」など印象に残っている出来事は？

4. まとめ方

A4 用紙 1 枚に以下の内容をまとめてください。

1.調べた方法（誰に・どのように聞いたか）

2.聞いた内容のまとめ

3.特に印象に残ったこと

4.そこから感じたこと・気づいたこと

5.保育を学ぶうえで考えたこと

※ 写真は提出しないでください（文章のみ）。

「B：先生にインタビュー」

1. 目的

保育者をめざすみなさんにとって、**身近な「先生」という仕事を知ることは大きな学び**になります。

自分が通っていた保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校の先生に話を聞き、

“子どもと関わる仕事とは何か” を考えるきっかけにしてください。

2. インタビューの相手

以下の中から、話しやすい先生を1名選んでください。

・幼稚園・保育園の先生

・小学校の担任の先生

・部活動の顧問

・高校の担任・教科担当

・学校外の習い事の先生（ピアノ・体操など）

※ 無理に直接会う必要はありません。 電話・オンライン・メール・手紙でのインタビューでも可。

3. 質問例

以下から3〜5問を選ぶか、自分で質問を作っても構いません。

・先生になったきっかけは何ですか？　　・子どもと関わる仕事のやりがいは何ですか？

・子どもと接するうえで大切にしていることは？　・これまで印象に残った子どもや出来事は？

・大変だと感じること・気をつけていることは？　・保育士を目指す高校生に伝えたいことはありますか？

4. まとめ方

A4 用紙 1〜2 枚で以下の項目をまとめてください。

1.インタビューした相手（氏名は書かず、「〇〇園の先生」などで可）

2.実施方法（対面、電話など）

3.質問内容と先生の答え

4.特に心に残った言葉

5.インタビューを通して考えたこと・感じたこと

課題3 しらべる 「自分で調べた幼稚園教諭或いは保育士について」

1. 目的

4 月から学ぶ「幼稚園教諭」「保育士」という専門職について、**自分の興味のあるテーマを軸に調べる力** を身につけること

を目的とします。調べる作業は時間や姿勢が整わないとなかなか取り組みにくいものですが、この機会に、将来の自分の姿を

考えながら調査してみましょう。

2. 調査テーマ

テーマは **自由** です。

以下はあくまで参考例なので、自分が「知りたい」「気になる」と思う内容を選んでください。

<テーマ例>

・幼稚園教諭免許と保育士資格の違い　・幼稚園教諭・保育士になるための学びの内容

・保育者の1日の仕事の流れ　・保育実習とはどんなものか　・保育現場のやりがい・大変さ

・特別支援保育、乳児保育、地域子育て支援など専門職としての役割　・保育所と幼稚園・こども園の違い

・保育者のキャリア（リーダー保育士、主任、園長など）　・保育者の働き方改革（ICT、勤務体制、研修など）

・海外の保育と日本の保育の違い　・保育士不足の現状と課題　・幼稚園教諭・保育士の給料・待遇について

・自分が憧れる先生像、なりたい保育者像

どのテーマでも構いません。専門的な論文を読む必要はなく、インターネット・本・動画など、手に入りやすい情報で OK です。

3. 調べ方

以下の方法のうち、いくつかを組み合わせると理解が深まります。

・文部科学省・厚生労働省、自治体の公式ページを確認する

・幼稚園教諭・保育士になった人のインタビュー記事を読む

・図書館の子育て・保育関連の本に目を通す

・YouTube や園の HP などで現場の様子を見る

・自分の高校や地元の保育者に話を聞く

・入学予定の短大・大学の公式サイトでカリキュラムを調べる

4. まとめ方

以下の内容を A4 用紙 1～2 枚 にまとめてください。

1.調べたテーマ（タイトル）

2.調査方法（どんな情報源を使ったか）

3.調べた内容の整理（箇条書きでも文章でも OK）

4.特に印象に残ったこと・驚いたこと

5.自分の考え・感想（将来どんな保育者になりたいか等）

※ 図やイラストを入れても構いませんが、コピー・写真の貼付は不要です。

※ 文章量の目安は 600～1000 字程度。

【提出について】

入学までの期間に、あなたが **学んだこと・考えたこと・実践したこと** をまとめ、以下の例を参考に表紙に氏名を記載して、**「実践報告書」** として仕上げてください。完成した実践報告書は、**入学式の翌日（オリエンテーション時）に提出** してください。

4 月に、みなさんにお会いできますことを楽しみにしています。